

《forum in FORUM》

サマースクール「機器分析」2007 年

科学分析支援センター 中村 市郎

科学分析支援センター主催のサマースクールも今回で12回目になりました。本スクールは昨年同様文科省・科学技術振興機構のサイエンス・パートナー・プロジェクト(SPP)と連携で8月20日(水)に科学分析支援センターで開催されました。このプロジェクトは中学・高校教員を対象に「先端化学の基礎とその広がり—今日と明日」と銘打って、5月から翌年の1月まで毎月1回開催されるもので、埼玉大学基礎化学科や応用化学科および科学分析支援センターの教員や職員の協力で講義・実習を行うものです。



写真1. 機器分析—全員集合

科学分析支援センターで行われたサマースクール「機器分析」は次の5つのテーマについての実習です。

- 「高分解能走査型電子顕微鏡によるケイソウ類の形態観察」
- 「核磁気共鳴吸収装置による有機化合物の構造解析」
- 「単結晶 X 線回析装置による結晶構造の決定」
- 「熱分析によるベンゼンとナフタレンの混和性」
- 「ICP 蛍光分光計による水質測定」

科学分析支援センター長井上金治教授の歓迎の挨拶と SPP 主担当者である永澤明教授による SPP 開催趣旨説明が行われました。全員の写真撮影の後、受講者は希望分析機器に分かれて実習を行いました。高精度の化学分析機器なので、機器操作について丁寧な説明が行われ、その後受講者は自分で装置を操作し、分析結果を得ました。その結果の解析方法や意味について担当教員から説明を受けました。ところで機器分析をテーマとした実習も3回目となりテーマ内容を毎年少しずつ変えてきているが受講者数が激減しています。来年度以降については検討する必要があります。



写真2. ICP 蛍光分光計の実習

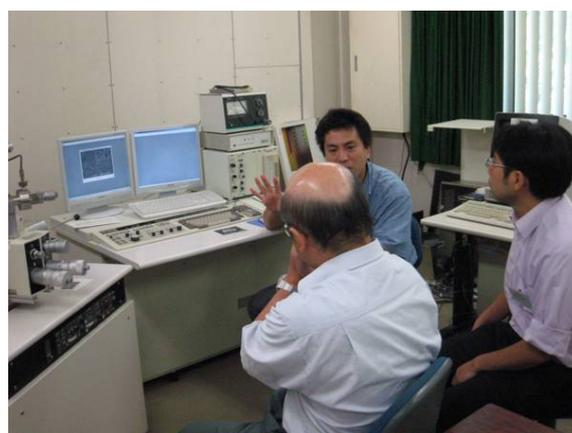


写真3. SEM の実習